

## キンメダイ資源管理手法開発研究

### 【研究概要】

伊豆諸島におけるキンメダイの漁業実態、資源生物特性の把握により、キンメダイの資源管理手法を開発し、広域的資源管理の展開に必要な科学的根拠を提供する。

- (1) 2023年の東京都の漁獲量は1,022.9トン（前年比116.2%）で、142.9トン増加した。
- (2) 尾叉長測定を大島で32尾、神津島で59,094尾。八丈島で5,636尾について行い、漁場別魚体組成を整理した。精密測定を神津島で128尾、八丈島で317尾、年齢査定を伊豆諸島全体で674尾実施し、結果を年齢組成や成熟状況の把握、Age-Length key 更新等、資源量推定のためのデータとして用いた。
- (3) 5～9月に大島から鳥島の10測点で実施したリングネット調査で、キンメダイ卵が計237粒採集された。仔魚については7月に御蔵島で2尾、8月に八丈島南で1尾採集された。
- (4) 標識放流を大島周辺で60尾、八丈島周辺で45尾実施した。
- (5) 資源量推定の結果から関東周辺から伊豆諸島周辺海域における2022年時点の資源量は33.2千トン、資源水準は「MSYを実現する水準を上回る。」、資源動向は増加と判断された。